

## 人権講演会

「同和問題の現実と課題」と題し、県人権教育アドバイザーの加持谷典範さんが、昭和50年代の解放運動への高まりから、現在の特別措置法失効後の同和問題の厳しい現状について、当時の活動と現実を見つめながら話されました。



多くの人が聞き入る



息の合ったもちつき

## もちつき大会

恒例の下榎自治会による「もちつき」が行われ、雑煮とぜんざいが振る舞われました。つきたてのもちの味は最高で、おかわりをして両方の味を楽しみました。



おいしいもちに誰もが笑顔



伸びるもちと力比べ

## 演奏会



園児のかわいい踊りに癒される

お待ちかねの演芸大会！  
地区外から多くの人に参加いただき、にぎやかな演芸大会となりました。  
今年も歌に聞きほれ、劇に大爆笑し、踊りに癒され、そして、人権劇ではうなずきながら、楽しいひとときを過ごすことができました。

## 演奏会

今年も13人の日野中学校吹奏楽部の皆さんが演奏を披露してくれました。

会場いっぱいのお客さんと一体となり、アンコールの声にも応えてくれました。



進行も中学生が行う

## 1月の行事予定

★新春囲碁・将棋大会＝1月8日(日)

会場：老人憩の家

**参加募集中です！  
ふるって参加ください！**

★セラバンド体操＝1月11日(水)

会場：老人憩の家

★生け花＝1月28日(土)

会場：下榎集会所

学習講座はどなたでも参加できます。

【申込みおよび問合せ】

下榎隣保館(電話72-1191)まで

●隣保館・集会所の作品展示も力作ぞろいで、訪れた人の目を楽しませてくれました。

●そば打ちも、大好評のうちに完売となりました。

●セルプひの、日野高ショップも大盛況でした。



打ちたてのそばを待つ



作品展示を見学する園児

# 第34回日野町解放文化祭 開催

11月5日、6日の2日間、下榎集会所・下榎隣保館・老人憩の家を会場に、第34回日野町解放文化祭を開きました。

当日はあいにくの天候でしたが、両日ともたくさんの方が訪れ、にぎやかな文化祭となりました。来場くださった皆さん、運営など協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

10月19日、町文化センターで人権啓発講演会を開きました。  
今回の講演内容を12月号と1月号でお知らせします。

**町長あいさつの要旨**

景山享弘町長は原発事故による多くの心ない言動に触れ「被災者のご苦労と心痛に思いを寄せながら、人権尊重社会の実現に向けて啓発がいまだに浸透していない現状がある。併せて台風で甚大な被害を受けた多くの被災者のご苦労などを考えれば、まさに『絆』と言う言葉が人権問題の基本。『助け上手、助けられ上手』な明るい日野町を目指して、小地域座談会などの活動を通じて人権尊重のまちづくりの皆さんの力をお願いしたい」と話されました。

**【講演】**

**【笑顔あふれていますか？「志民」になろう！】**

和田芳治さん（元広島県総領町教育長）を講師に招き、笑顔と命が輝く人権尊重のまちづくりを学びました。

和田さんは「自分が変わることで命が輝く、笑顔があれば命が輝き町が変わる。自分が変わるためには社会や他者の責任にしないことです。差別する人に笑顔はありません。『誰も差別したいと思っていないがでも差別してしまおう』それが人の弱さです」と話されました。

なぜ差別してしまうのか、差別でもしなければ、他者の足でも引つ張らなければ、悪口でも言わなければいられないほど自

分が壊れてしまっている。人を引つ張り下して下に見て、自分は浮いたような気持ちになってズルズルと沈み相手も傷つけている。差別くらい情けないことはないと思います。

人権のテーマは『真に命が輝いているか、笑顔があふれているか』なのです。

**【鏡は先に笑いません】**

人権教育を『命が輝いていいますか、笑顔があふれていますか』で考えてみてください。職場に笑顔があふれていますか、家庭に笑顔があふれていますか、誰に笑顔がないですか。笑顔がないとしたら誰に問題がありますか、夫ですか妻ですか、おじいさんですか、おばあさんですか、子どもですか、あなた自身ではないですか。あなた自身に笑顔がないことが周りの笑顔がなくしています。

あなた自身に笑顔がないことを他者のせいにするのが一番の問題です。鏡は先に笑いませぬ。自分が先に笑うことで周りを笑顔に変えてください。社会が悪い、政治が悪い、行政が悪いこともあるが、それを変えていくのも自分自身が変わることだと思えます。

**【笑顔をあふれさせろ！】**

やりたいことができれば笑顔になれる。それができないのが世の中だという人もいます。

では、誰が笑顔にさせないのですか。夫ですか妻ですか、上司ですか部下ですか、

周りの人ですか。自分を自分で縛り他者のせいにして足を引つ張り差別者になっていく。

打てば響く人が周りにいれば笑顔になれる。『それは良いこと』と、賛同し励ましてくれる人が周りにいれば笑顔になれる。打つても響かない人と生活

できますか、一人で生きて行けますか、生きて行くためには打てば響く人になることです。

**【打てば響く人】**

私の周りには打てば響く人がいないと思っていますか、それはあなたが打てば響く人でないということです。あなたが打てば響く人になってあげることです。人の足を引つ張らない、笑顔がはじける人になることです。鏡は先に笑わないと同じことです。

**【ありがとつをもらおう！】**

笑顔がはじけると言うこと：。やりたいことをやっていれば周りから拍手が来たり、ありがとつがもらえる。人の役に立つ、そのようなやりたいことをやっていきますか。あなたには拍手が来ているですか、ありがとつをもらっていますか。

役立ち感がほしい、その反対が差別されて人間扱いされないことです。その役立ち感が

感じられる町、地域、家庭が大切です。

**【ありがとつを言おう！】**

ありがとつという言葉はどうしたら得られる：。その場合に必ず人のため社会のため、家庭のためという気持ちがあります。

谷村新司は「社会のため喜んで貢献できる人をエリート」と言い、そういう人間が育てたかったら「家庭に笑顔が溢れさせなさい」と言っています。皆さんの家に笑顔が溢れていますか、お手伝いすれば『ありがとつ』と言いましょ。

**【もの見方】**

人生を変えたいテストをします。「上と下に三角を3つ描いてください。次に丸を一つ描いてください。それを一本の線で分けてください。」私は3つの三角と一つの丸を分けるように線を曲げて描きました。皆さんはどう描きましたか。

『蛇は水を飲んでこれを毒とし、牛は水を飲んでこれを乳にする』同じ水でも受けての力、能力、関心によって好きなように捕らえられます。確かに社会が悪い、政治が悪い、親が悪かったりしますが、でも幸せになる人と不幸になる人がいます。水を飲んで毒にするか乳にするかは受け手の問題です。

**【天国と地獄】**

ある僧侶の天国と地獄の違い

の話をしします。天国と地獄のどちらにもきれいな花が咲き乱れご馳走の山でした。何が違っていたかと言え、そこにいる人が違っていたのです。

どちらも1メートルの箸を使ってそのご馳走を食べなければいけないでした。地獄はみんな怒りに満ちて、目の前にあるご馳走に箸もつけないでいます。ところが、天国ではみんな笑顔で楽しくご馳走を食べています。どこが違うのか、地獄は自分で食べようと、天国は相手に食べさせています。天国と地獄の差は箸の使い方次第なのです。

**【あなたと居れば元気になる】**

あなたは周りの人からそう言われていますか。そのような人は希望を語り悪口は言わない、他者の足を引つ張っていない。その反対は、昔の話ばかり言う人、他者の悪口ばかり言う人で、毒にするか乳にするかはあなた次第です。



和田芳治さんの温かい講演は参加者の心に残る